ご参加にあたってのお願い

限られた時間の中で、多くの方にご発言いただけるよう、ご協力をお願いいたします

1. ご質問・ご意見は、第 2 期再編計画に関する内容でお願いします。
2. 発言は司会の指名を受けてから、お一人一問ずつでお願いします。
3. 個別の診療や職員対応に関するご意見などは、本日ではなく、下記で承ります。
   病院事業局 総務部（メール soumu@suo-kouei.com）
4. 円滑な進行のため、司会の判断で発言をお控えいただく場合があります。
5. 本説明会は、記録のため録音させていただきます。

第 2 期再編計画の改訂に関する住民説明会　令和 8 年11月 3 日（火・祝）13時30分～15時　大島文化センター ホール

周防大島町病院事業
第2期再編計画（第2回改訂素案）について

住民説明会

令和8年11月3日（火・祝）　大島文化センター

周防大島町病院事業局

本日ご説明すること

6つの項目に沿ってご説明します

1 **病院事業の厳しい現状**

患者数・利用率が計画を大きく下回っています

2 **再編計画（第2回改訂素案）の内容**

大島病院の1病棟化とやすらぎ苑の移転を前倒し

3 **「医療・介護難民」を生じさせないために**

患者さん・入所者の方の受け皿

4 **収支の見通し**

費用の縮減と一般会計からの支援

5 **現やすらぎ苑建物の取扱い**

一般会計への無償譲渡を検討

6 **今後のスケジュール**

計画の手続きと施設の再編の時期

1　病院事業の厳しい現状

町内で入院が必要な方は、計画の想定より大幅に少なくなっています

計画での見込み

136人

令和7（2025）年時点の
町内の入院患者数

令和8年度の実績

約110人

平均入院患者数

10年後の推計

104人

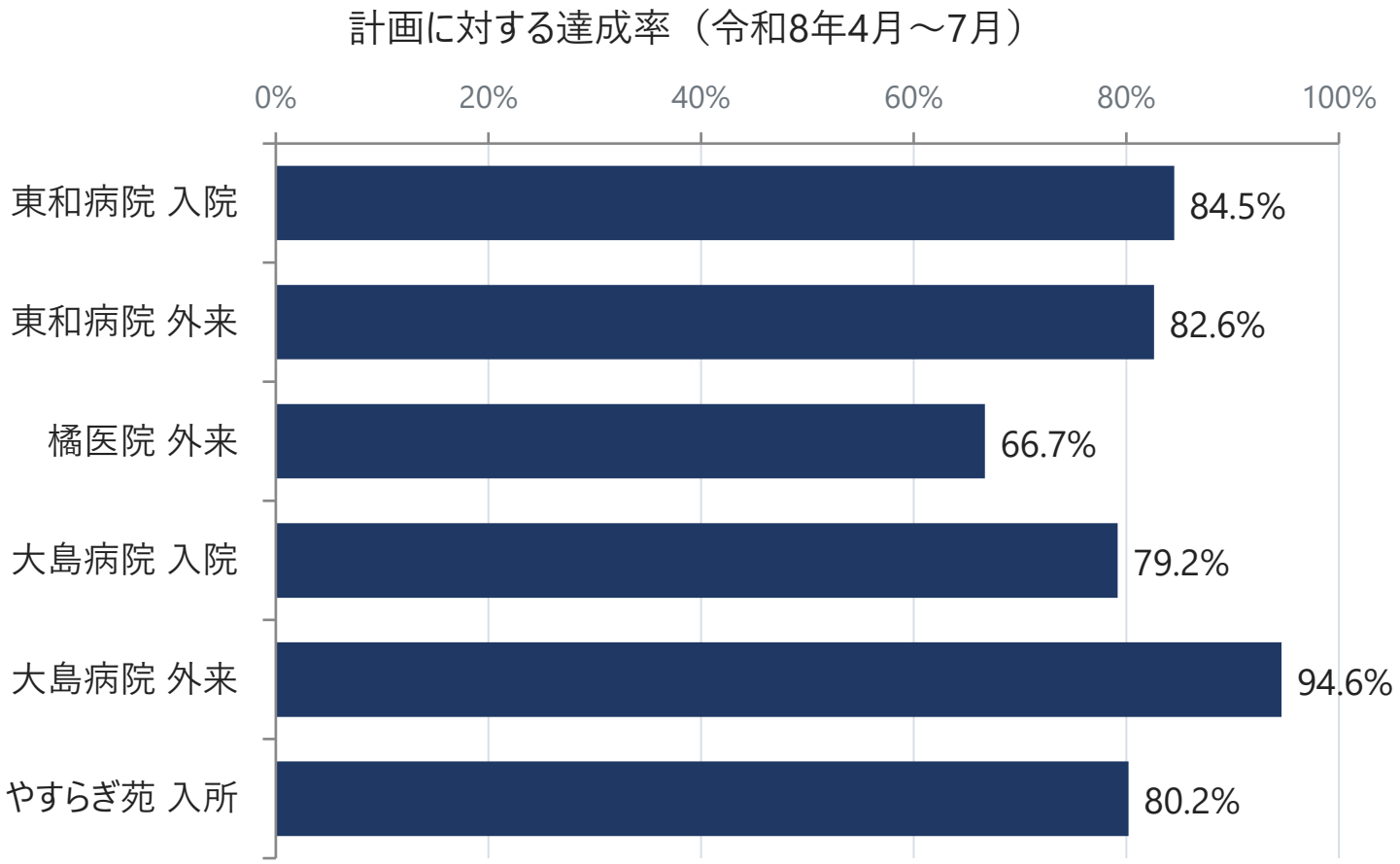
令和17（2035）年の推計値

令和8年度の実績は、10年後に見込んでいた水準にすでに迫っています

※ 民間診療所の19床分を除く

患者・利用者数は計画を大きく下回っています

どの施設も計画に届かず、医業収益の減少が赤字の主な原因です



入院計（東和病院＋大島病院）

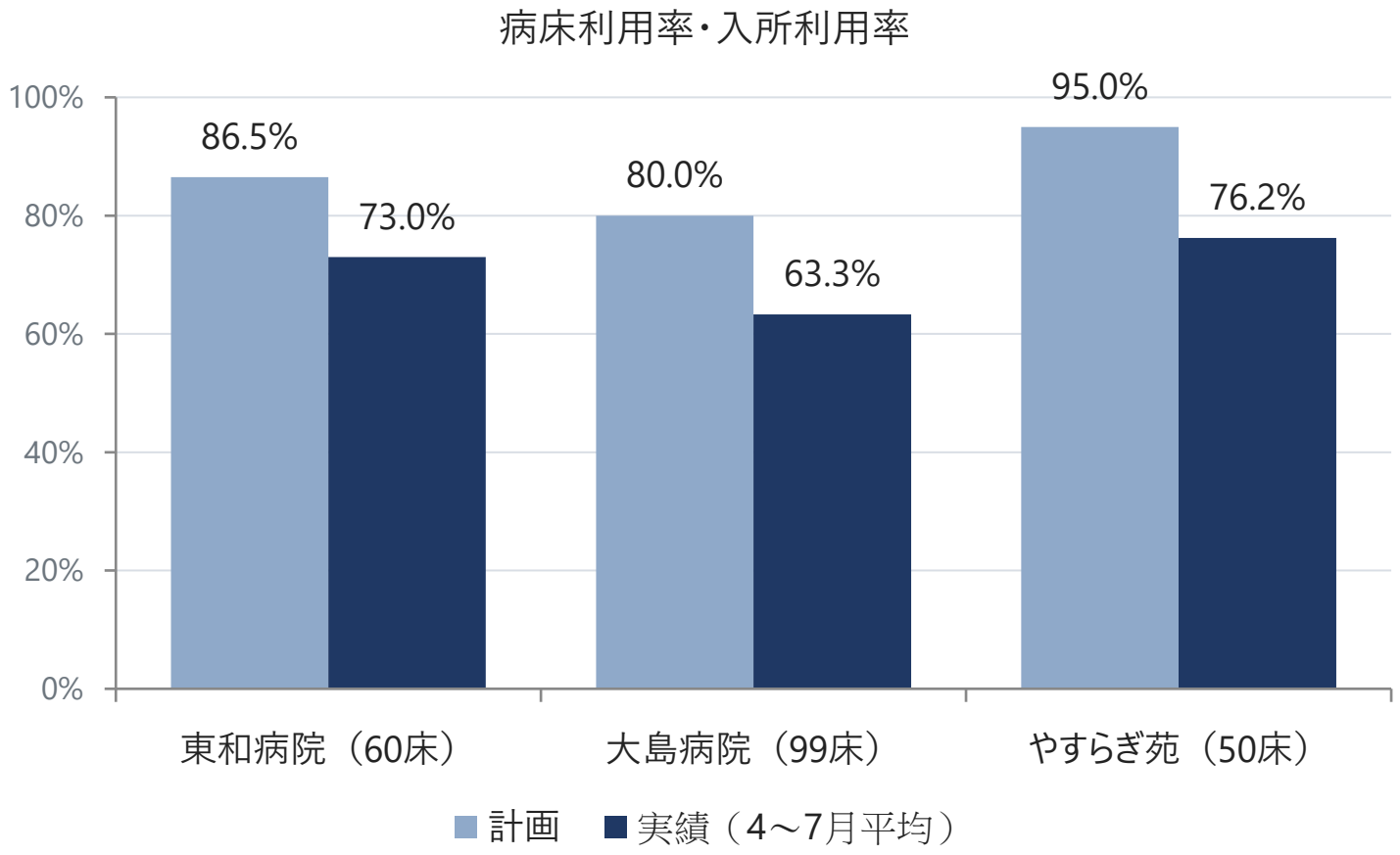
81.3%

計画　15,988人
実績　12,992人
差　△2,996人

橘医院の外来は計画の約3分の2にとどまっています

病床・施設の利用率も計画と大きく乖離

ベッドが空いたままでも、職員や建物の費用はかかり続けます



一日平均の患者・利用者数

東和病院

計画 51.9人 → **実績 43.8人**

大島病院

計画 79.2人 → **実績 62.7人**

やすらぎ苑

計画 47.5人 → **実績 38.1人**

※ 東和病院は休床39床を除く60床で算出

患者数が減った主な理由

人口減少に加え、受診のしかたや医療の提供体制が変わってきています

1 受療行動の変化

新型コロナの流行をきっかけに、通院を控える、定期受診の間隔を空ける、軽い症状では受診を見送るといった行動が広がり、流行後も元の受診の習慣には戻っていません。

2 在宅医療へのシフト

診療報酬改定を重ねるなかで入院から在宅医療への移行が進み、民間の訪問診療・訪問看護なども充実。病院で長期療養する方が減り、病床が需要に比べて過大になっています。

病床や施設をそのまま維持すれば、固定費だけが残り赤字はさらに膨らみます

そのため、再編計画のさらなる前倒しが必要となりました

2　再編計画（第2回改訂素案）の内容

令和9年度に予定していた大島病院の1病棟化と、やすらぎ苑の移転を前倒しします

令和8年12月1日

大島病院

4階を地域包括ケア病棟（39床）に転換

令和9年2月1日

大島病院・やすらぎ苑

やすらぎ苑を大島病院5階へ移転
4階を3床増やし42床に（57床を廃止）

令和9年度から

橘医院

内科・歯科のみの診療に
（施設のあり方は令和8年度中に検証）

東和病院は救急告示病院として、1病棟60床（療養34床・地域包括ケア26床）の運営を続けます

再編前と再編後の病床数

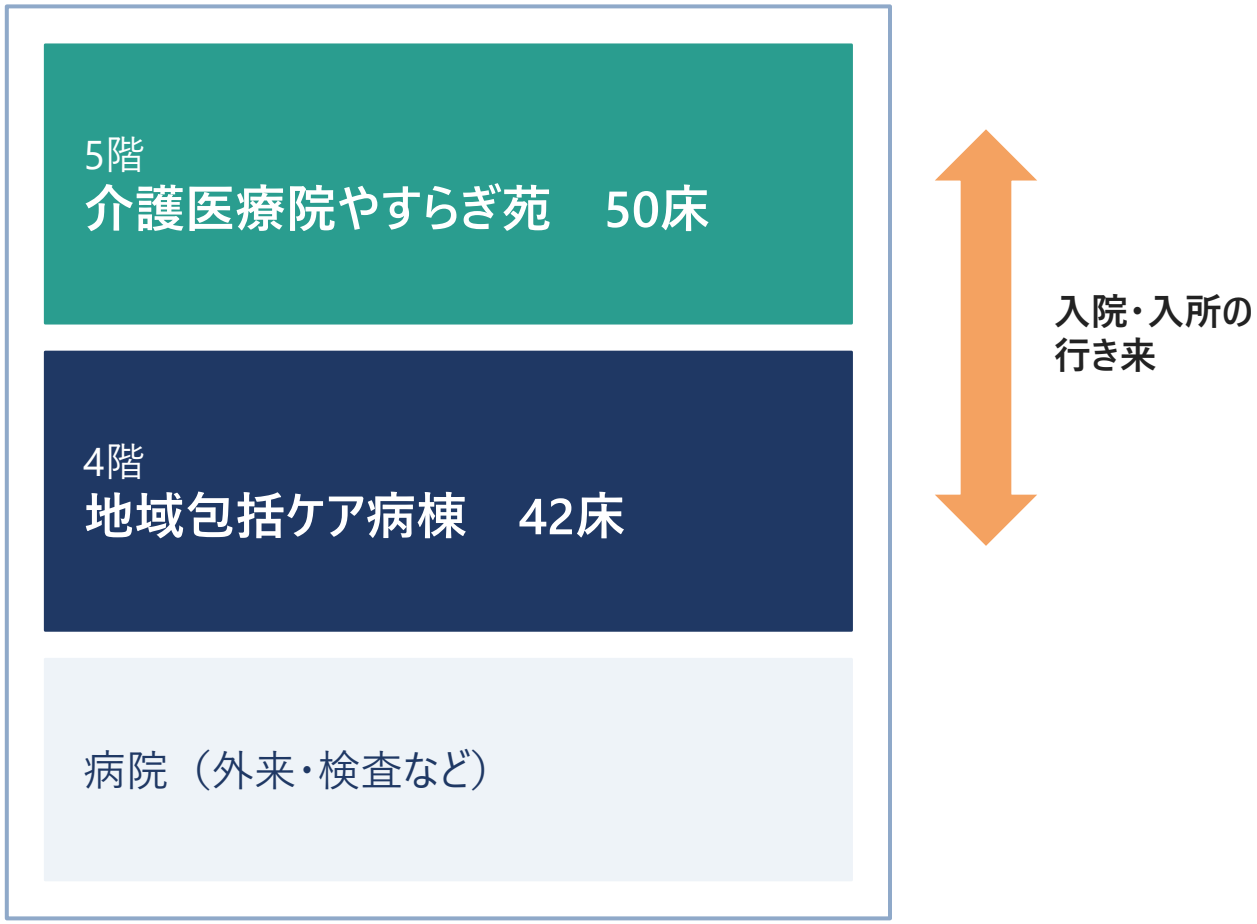
施設全体で57床を減らし、需要に見合った規模にします

施設	再編前	再編後	主な内容
東和病院	99床（稼働60床）	99床（稼働60床）	1病棟60床の運営を継続 休床39床の再稼働（2病棟化）は凍結
大島病院	99床	**42床**	4階を地域包括ケア病棟に 57床を廃止
介護医療院 やすらぎ苑	50床	50床（大島病院5階）	大島病院5階へ移転 Ⅱ型からⅠ型へ転換予定
橘医院	無床	無床	令和9年度から内科・歯科のみ
合計	**248床（209床）**	**191床（152床）**	**△57床**

（　）内は休床を除いた数　／　うち医療の病床は 159床 → 102床（東和60床＋大島42床）

新しい大島病院のすがた

医療と介護を一つの建物で、一体的に提供する体制へ移行します



医療		介護		施設全体
42床	＋	50床	＝	92床

令和8年12月1日

4階を地域包括ケア病棟39床に転換

令和9年2月1日

やすらぎ苑を5階へ移転し、4階を3床増やして42床に

医療の病床が102床で足りるのでしょうか

介護医療院をⅠ型に転換し、療養が必要な方をしっかり受け止めます

一見すると…

令和8年度の入院患者　**約110人**

再編後の医療の病床
（東和60床＋大島42床）　**102床**

8人程度
足りないように見えます

しかし…

介護医療院を
Ⅱ型（老健相当）→ Ⅰ型（介護療養病床相当）
へ転換し、医療的ケアの必要度が高い方を受け入れます

療養病棟に相当する方を介護医療院が受け止めるため、不足は生じません

I 型化と病院内への移転で、何が良くなるのか

医療的ケアが必要な方も、ご家族も、安心できる体制をめざします

I 型化

医療的ケアへの対応

喀痰吸引やインスリン注射などが必要な方も、安心して暮らし続けられます

I 型化

受け皿の拡大

胃ろうによる経管栄養が必要な方など、療養病棟に入りにくい方の受け皿になります

病院内

急変時の安心

院内の医師・看護師がすぐに駆けつけ、検査や処置をその場で行えます。夜間・休日も当直医が対応します

病院内

入院と入所の行き来

治療が必要になれば4階に入院し、回復すれば住み慣れた5階へ戻れます

病院内

検査・看取り

検査やリハビリを院内で受けられ、通院の付き添いが要りません。最期まで同じ場所で支えます

病院内

ご家族の安心

面会・病状説明・外来受診が一か所で済み、ご家族も通いやすくなります

3　「医療・介護難民」を生じさせないために

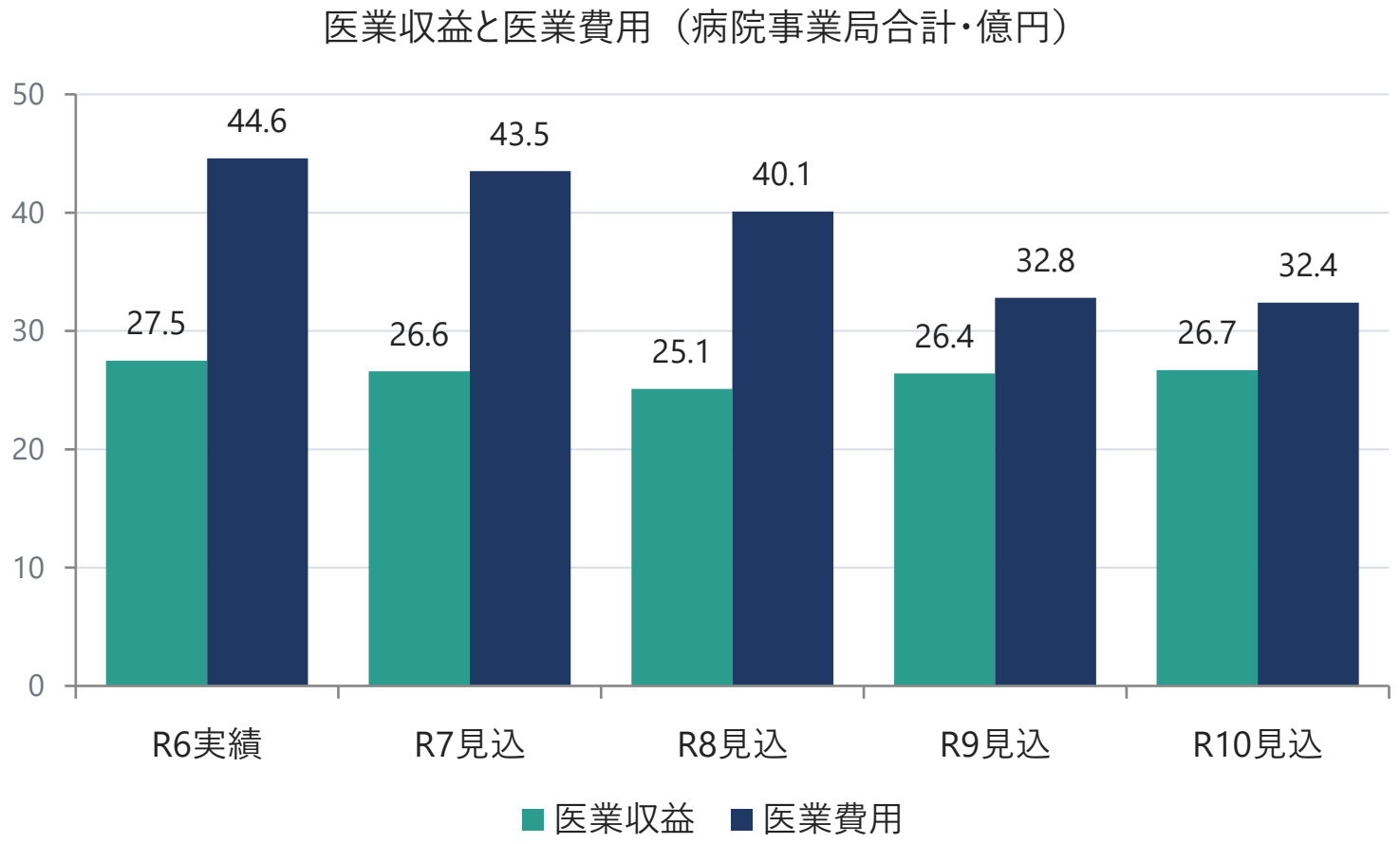
これを再編の大前提とし、医療機関と介護施設が役割を分担して受け止めます

こんな方は	ここで受け止めます
周東総合病院・岩国医療センターなどで急性期の治療を終え、在宅復帰をめざす方	大島病院　地域包括ケア病棟 東和病院　地域包括ケア病床
療養病棟での長期にわたる入院医療が必要な方	東和病院などの療養病棟
医療的ケアを受けながら、長く暮らす場が必要な方	介護医療院やすらぎ苑など

転院・転所は、ご本人・ご家族のご意向を確かめ、丁寧にご説明したうえで個別に調整します

4　収支の見通し

病床の再編に合わせて、費用を大きく縮減します



医業費用の縮減（R7→R10）

約11億円

- 病床再編に合わせた職員数の見直し
- 院外処方への移行・業務量減少に伴う材料費の減
- 医療機器等の投資計画の見直し

前倒しに伴う一般会計からの追加支援

再編を確実に進めるため、令和10年度まで町からの追加支援をお願いします

前倒しに伴う追加支援（一般会計）

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
2億円	1億円	5千万円	追加支援に依存しない収支構造へ

- 令和8年度は、再編支援分として基準外繰入4.8億円もあわせて見込んでいます
- 大島病院の病床削減（57床）には、国の病床数適正化緊急支援事業 約2.3億円を活用します
- 資産売却に頼らない計画とし、年度末の現金残高は約2億円を維持します

5　現やすらぎ苑建物の取扱い

売却は現実的ではないと判断し、一般会計への無償譲渡を検討します

1　民間の見解

民間の不動産会社に問い合わせたところ、立地は申し分ないものの、建物の用途や規模から、介護施設以外での活用は難しいとの見解でした。

2　当局の判断

底地が借地であることもあわせて考えると、売却は現実的ではないと判断し、一般会計への無償譲渡を検討しています。

これにより、これまで見込んでいた建物の売却収入に頼らない資金計画としています

6　今後のスケジュール

住民説明会の開催日をもって、第2回改訂素案を公表します

計画の手続き	**9月（済）** 職員説明会 特別委員会 全員協議会	**10月中旬～11月上旬** 住民説明会（本日） 第2回改訂素案を公表	**11月下旬～12月上旬** 病院事業改革 特別委員会（改訂案）	**12月** 全員協議会 第2回改訂版を公表
施設の再編	**令和8年12月1日** 大島病院4階を 地域包括ケア病棟（39床）に	**令和9年2月1日** やすらぎ苑を大島病院5階へ移転 4階を42床に	**令和9年度から** 橘医院は 内科・歯科のみの診療に	

※ 日程は関係機関との調整等により変更する場合があります

地域の医療と介護を、
これからも守り続けるために

ご理解とご協力をお願いいたします

ご質問・ご意見をお聞かせください

周防大島町病院事業局